

落札者決定基準 (建築主体工事)

総合評価の方法

総合評価の方法は、次のとおりとする。

1 評価方式

除算方式により評価値を算出する。

$$\text{評価値} = (\text{標準点} + \text{加算点 (技術評価点)}) \div \text{入札価格} \times 100,000,000$$

2 評価の方法

(1) 価格の評価 (価格評価点の算出)

ア 入札参加条件を満たす入札参加者全てに標準点100点を付与する。

イ 技術提案の評価により、技術評価点として最大25点の加算点を付与する。

ウ 総合評価は、上記ア及びイにより得られた標準点と加算点の合計を当該入札者の入札価格で除して得た数値を用いて行う。

(2) 加算点 (技術評価点の算出)

下表による。

区分	評価項目・内容	評価基準	評価点	MAX		
品質の確保	工事施工成績	過去8年間の北海道開発局宮城建設局発注工事の工事施工成績評価 (全工事)	1工事ごとに別表1の評価点区分に基づき個別配点を求め、その平均点を評価点とする。なお、小数点以下第3位を四捨五入し、2位以上で評価する。	0~4.0	4.0	
		過去8年間の北海道建築局発注工事の工事施工成績評価	1工事ごとに別表2の施工成績評価点区分に基づき個別配点を算出し、その平均点を評価点とする。なお、小数点以下第3位を四捨五入し、2位以上で評価する。	0~4.0		
	同種・類似工事の施工実績	平成13年4月1日から平成28年3月31日までの間におけるスポーツ施設 (体育館・武道館などのスポーツ施設) の施工実績	元請施工実績1件につき1点最大3件まで 実績なし	1.0 0.0	3.0	
		ISO認証	ISOマネジメントシステムの取得	ISO9001及びISO14001を取得 ISO9001又はISO14001を取得 取得なし		1.0 0.5 0.0
	配置予定技術者	技術者の資格	主任 (監理) 技術者の保有する資格	一級建築施工管理技士 (有資格期間10年以上) かつ一級建築士を保有	2.0	2.0
				一級建築施工管理技士 (有資格期間10年未満) かつ一級建築士を保有	1.0	
				一級建築施工管理技士 (有資格期間10年以上) を保有	0.75	
				一級建築施工管理技士 (有資格期間5年以上10年未満) を保有	0.5	
				上記以外	0.0	
		技術者の継続教育	主任 (監理) 技術者の継続教育	CPDの証明あり 実績なし	0.5 0.0	0.5
技術者の追加配置	若年技術者の追加配置	一級建築施工管理技士又は二級建築施工管理技士 (有資格期間5年以上) を保有 二級建築施工管理技士 (有資格期間5年未満) を保有 なし	0.5 0.3 0.0	0.5		
地域への貢献	地域貢献活動の実績	上ノ国町内で実績あり	1.0		1.0	
		実績なし	0.0			
	上ノ国町との災害協定の締結	参加あり	1.0	1.0		
		参加なし	0.0			
地域の技能士等の活用	上ノ国町内からの活用計画あり	1.0	1.0			
	計画なし	0.0				
地域経済効果	地域企業への活用 (一次下請の活用及び建設資材の購入)	上ノ国町内業者への発注予定金額 (下請工事と建設資材購入額の合計額) の最も高い者を満点 (4点) とし、その他の者は、発注金額の最も高い者と比較し、その比で傾斜配分する。なお、小数点以下第3位を四捨五入し、2位以上で評価する。	0~4.0	4.0		
		上ノ国町内業者からの物品購入やサービス利用予定金額の最も高い者を満点 (3点) とし、その他の者は、発注金額の最も高い者と比較し、その比で傾斜配分する。なお、小数点以下第3位を四捨五入し、2位以上で評価する。	0~3.0		3.0	
計			25.0			

工事施工成績評定点区分

【別表1 北海道開発局営繕部発注工事(建築工事)】

区分	評定点区分	評価点
全工事	80点以上	4.0
	76点以上80点未満	3.5
	72点以上76点未満	3.0
	68点以上72点未満	2.5
	68点未満	2.0
	実績なし	1.5

【別表2 北海道建築局発注工事(建築工事)】

工事区分	工事施行成績評定点区分	評価点
建築工事	85点以上	4.0
	81点以上85点未満	3.5
	77点以上81点未満	3.0
	73点以上77点未満	2.5
	73点未満	2.0
	実績なし	1.5

留意事項 平均点は小数点第2位を切り捨て、1位止めとする。